

移動を華やかに、校内を緑で彩るグリーンアーチ

1. 企画概要

この企画は、校内の空き地の対角線上に、4号館から1号館をつなぐように植物をまとったグリーンアーチを設置するというものである。

また夜にライトアップを実施し、その際は地域の住民も出入りできる形にしたい。

2. 目的背景

私にとって、1号館から4号館までの移動はとても憂鬱なものだった。そんな移動時間を少しでも彩り、学生生活に輝きを与える通路を作成することが目的だ。また夏においては強い日差しをよける効果も見受けられる。

3. 実施内容

アーチ設置

- サカタのタネ製「グリーンアーチ」を5基、通路20mに5m間隔で設置。
- 固定はウェイト式を採用し、短期利用に対応。
- ネット補強と簡易的な金具で安全性を確保。

植栽・装飾

- つる性植物（約50株）を各アーチに配置。
- 培土・肥料・誘引材を用いて初期から緑化効果を演出。
- 見栄え確保のため、人工グリーンを部分的に併用。

ライトアップ（冬季）

- LED投光器を中心に各アーチを照射し、夜間の視覚的演出を強化。
- 延長ケーブル、防水カバー、タイマー制御を導入。
- 電源工事は簡易方式とし、低コストで設置。

運営体制

- 設営・撤去は専門業者と連携し、1～2日で施工可能。
- 植栽後は定期的に散水・簡易管理を行う。

4. 期待される効果

キャンパス景観の向上

- これまで活用されていなかった空き地に緑のアーチを設置することで、殺風景な空間が明るく魅力的な憩いの場になる。
- 学生・教職員・来訪者が気軽に立ち寄れるフォトスポットとなり、キャンパス全体の印象を高める。

学生生活の充実

- 四季を感じられる植物や季節ごとのライトアップを通じて、学生がリラックスできる環境を提供。
- サークル活動やイベント、記念撮影など多様な利用が期待でき、キャンパスライフの質を向上させる。

地域連携・社会貢献

- ライトアップイベントを学外者に開放することで、地域住民との交流の場を創出。
- 大学が地域文化の発信拠点として機能し、地域社会に貢献する姿勢を示すことができる。